

第24回 北海道・北東北 知事サミット 提言事項

令和3年10月

北海道・北東北知事サミット構成員

北海道知事 鈴木直道

青森県知事 三村申吾

岩手県知事 達増拓也

秋田県知事 佐竹敬久

目 次

1. 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を活用した
取組への支援について 1

世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」 を活用した取組への支援について

北海道・北東北三県が連携して、14年にわたり世界遺産登録に向けて取組を進めてきた「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、第44回世界遺産委員会拡大会合において世界遺産に登録され、長年にわたる取組が実を結んだところです。

新たな世界文化遺産の誕生は、北海道、青森県、岩手県及び秋田県の魅力を高め、ふるさとへの誇りと自信をもたらすとともに、地域の活力が生まれるなど、様々な効果が期待できるものと考えており、今後は、北海道・北東北三県が連携して、縄文遺跡群を未来に継承する取組を推進するとともに、縄文遺跡群を活用した活力ある地域づくりに取り組み、観光面をはじめ、その効果を最大限に発揮することが重要と考えます。

このため、国においては、こうした地方独自の取組についても総合的な支援策を講じるよう、次のとおり要望します。

1 保存、活用の担い手の育成に向けた支援

縄文遺跡群の有する魅力を伝えるガイドの育成や体制づくりなどに向けた取組に対する支援の充実を図ること。

2 受入環境の充実に向けた地方自治体の取組に対する支援

構成資産への誘客促進を図るためのロードサインの設置などを行うほか、地方自治体が実施する取組について支援を行うこと。

3 地方の観光復興に向けた支援

「地域観光事業支援」等といった機動的な需要喚起対策を継続するとともに、感染状況が落ち着いている地域では、各自治体の判断で近隣圏域を対象可能とするなど、柔軟かつ弾力的な運用とすること。

また、感染状況が落ち着いた際に実施すると見込まれる全国からの誘客促進へつながるキャンペーンについても、早急かつ丁寧に情報提供を行うこと。